

# 多賀の代表としてがんばります



日本共産党

## 谷田ケンジ

たにだ健治

【プロフィール】1953年生まれ。多賀小・泉ヶ丘中・私立大谷高校・滋賀大学教育学部卒。小学校教諭として、地元の井手小学校に1985年から10年間在職したほか、大久保小・田原小・宇治田原小・大住小に勤務。綴喜地方労働組合協議会議長、井手町社会福祉協議会評議員などを歴任。現在、多賀南部区副区長、多賀南部区地域福祉推進員。趣味は、アマチュア無線・読書・メダカ飼育。

便利なバスを  
走らせよう

## 教師 38年 誠実・実行力の人

### 谷田ケンジのお約束

#### 安心して住み続けられるまち

- となり町へも行ける便利なバスの運行
- 防災無線の受信機を各家庭に設置
- 避難所に水や食料など備蓄品を設置し、災害に強いまちづくり

#### 子育て応援のまち

- 学校体育館へのエアコン設置
- すべての保育所で0歳から5歳まで保育、兄弟姉妹が同じ保育所に通えるようにする、学童保育の無償化
- 移住者でも住める子育て世代向け町営住宅を増やす

#### 高齢者が暮らしやすいまち

- 高齢者の補聴器購入費助成の実施
- 国保税や介護保険料の引き下げ

生後4カ月で、南山城水害を経験。母は私をネンネコで包み、必死で逃げたそうです。水害の教訓を行政は生かす必要があります。

小学校の教師として38年間、子どもと教育に関わってきました。子育て支援をさらに充実させたいと思います。

日本共産党は、これまで住民の切実な願いを町に届け、実現に力を尽くしてきました。その議席を引き継ぐために精一杯がんばりますので、どうかご支援をよろしく願います。

### 谷田 茂彦さん（多賀南部区在住）

ケンちゃん、多賀で生まれ育ち、「小さいときから地域の人に大変お世話になった。人の優しさを感じて育ってきた」と日頃から言っています。退職後は自分を育ててくれた地域の為に役立ちたいと、副区長や地域福祉推進員、子ども見守り隊などを務め、みなさんから信頼されています。

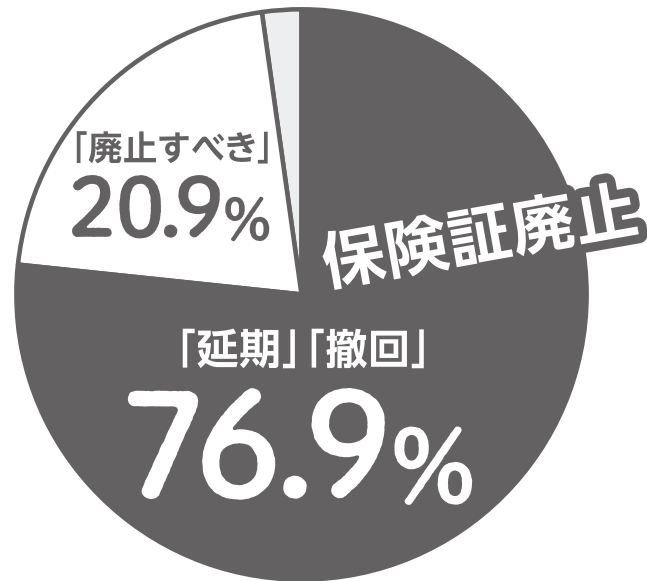
ケンちゃんなら、となり町へも行けるバスの運行、防災無線の受信機を各家庭に設置、学童保育の無償化など、くらしのいろいろな課題を議会で取り上げ、誰もが大切にされるまちづくりの為に頑張ってくれるでしょう。大いに期待します。

井手民報

2023年8月1日 号外 日本共産党井手町支部 発行  
連絡先：川西（0774-82-4916）  
日本共産党井手町支部は上記の見解を發表しました。

# 健康保険証の存続 マイナンバーカードへの一本化は中止を

健康保険証をマイナンバーカードに置き換え、来年秋に廃止する政府方針のもとでトラブルが続出しています。



産経・FNN合同世論調査 2023年7月

## 混乱しても強行

自民+公明+維新+国民

マイナ保険証おしつけ「反対」7割以上という国民世論を押し切って、国会では政権与党に維新、国民民主が加わった4党が多数で強行。国民の批判にはまったく耳を貸さず、反省もありません。

## 健康保険証の存続を

マイナ保険証は  
トラブル噴出&手続き煩雑

保険医団体の調査では、すでに5500件近いトラブルが発生し、窓口で医療費10割をいったん支払わされた例も約1300件にもものぼります。しかもマイナカードは5年ごとに顔写真を撮り直すなど「更新」が必要で、忘れると保険料を払っていても無保険扱いに——国民と医療機関の負担をふやすだけのマイナ保険証は中止し、現行の健康保険証をそのまま存続させるべきです。

## いったん停止し見直しを

個人情報ビジネス最優先はやめるべきです

保険証廃止を言い出したのは財界。マイナンバー制度を利用して集めた個人情報をビジネスに活用するためです。マイナンバー制度は廃止をふくめ、国民みんなで議論しなおしましょう。



## はっきりもの言い、しっかり働く

# 日本共産党の議員が必要です

日本共産党がおこなっている町民アンケートには、「スーパーマーケットがなくなり買い物に困っている」「病院に通院するのも大変」といった声がたくさん寄せられています。町役場が高台に移転し、「役場に行きにくくなった」という町民もおられます。

一昨年、町人口の14%、1049人の署名を添え「バスを走らせて欲しい」という請願が町議会に出されました。しかし、日本共産党以外の議員の反対で請願は否決されました。

日本共産党は、1958年に町議会で初めて議席を得て以来、町民の要求実現に全力で、粘り強くがんばってきました。18歳まで子どもの医療費無料化、給食費の無料化、玉水駅と山城多賀駅へのエレベーター設置などを実現することができました。

住民の願いを実現するために、町議会ではっきりもの言い、しっかり働く日本共産党の議員が今後も必要です。

岸田政権ノ、暮らしの願いを日本共産党へ